

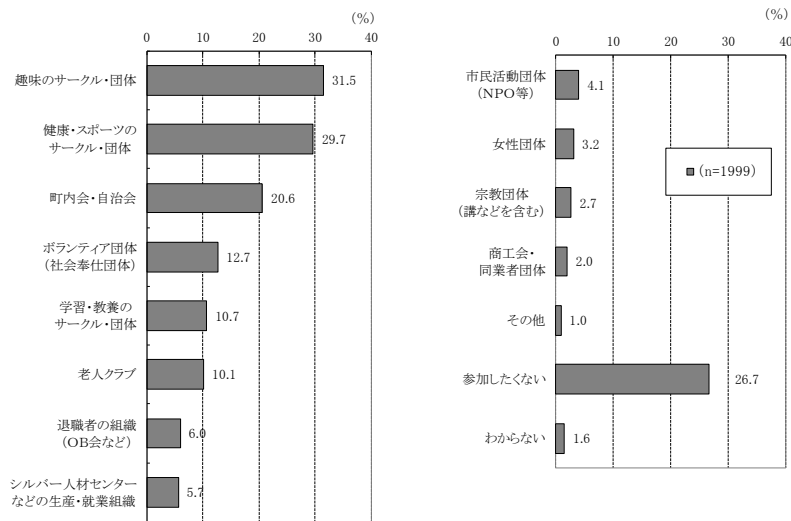
(5) 参加したい団体

- ・参加したい団体や組織は「趣味のサークル・団体」(31.5%)が最も多く、次いで「健康・スポーツのサークル・団体」(29.7%)が多い。
- ・年齢層別に比較すると、60代と70代では「趣味のサークル・団体」(60代:37.0%、70代:29.6%)が最も多いが、80代以上では「老人クラブ」(22.0%)が最も多い。
- ・「老人クラブ」に参加したいと思う割合は、60代で4.7%、70代で12.3%、80代以上で22.0%であり、年齢が高くなるとともに「参加したい」と思う割合が高くなっている。

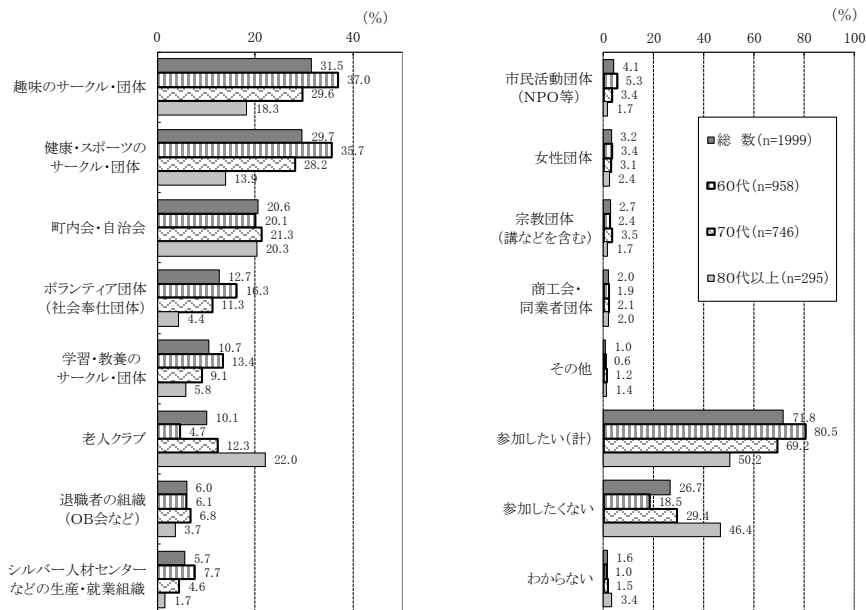
Q9-1 「あなたが、参加したい団体や組織がありますか。それはどのような団体ですか。」

(複数回答)

(平成25年度・総数)



(平成25年度・年齢層別)



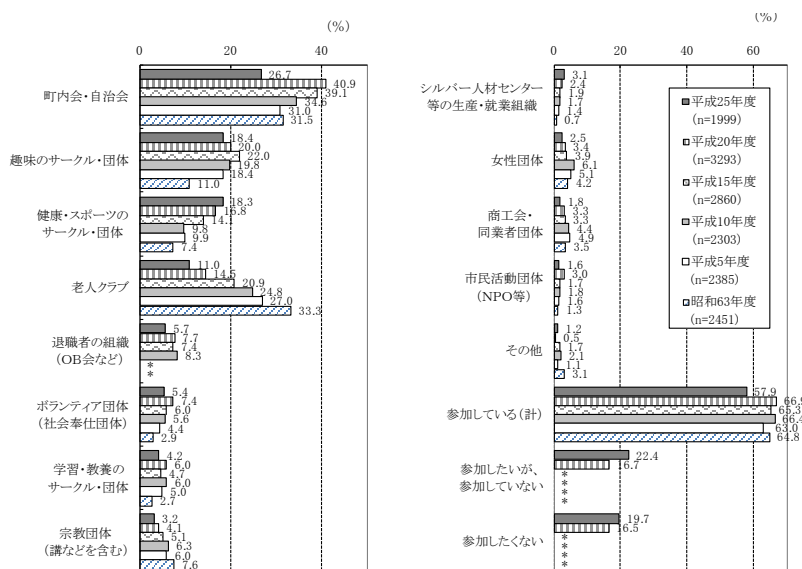
(6) 参加している団体

- ・参加している団体や組織は「町内会・自治会」(26.7%)が最も多い。しかし、時系列で比較すると、前回調査(40.9%)から14.2%ポイント減少している。
- ・時系列でみると、「健康・スポーツのサークル・団体」への参加は増加傾向がみられ、「老人クラブ」への参加は減少している。
- ・「老人クラブ」に参加している割合を年齢層別にみると、60代では3.9%、70代では14.7%、80代以上では24.7%であり、年齢が高くなるとともに「参加している」割合が高くなっている。

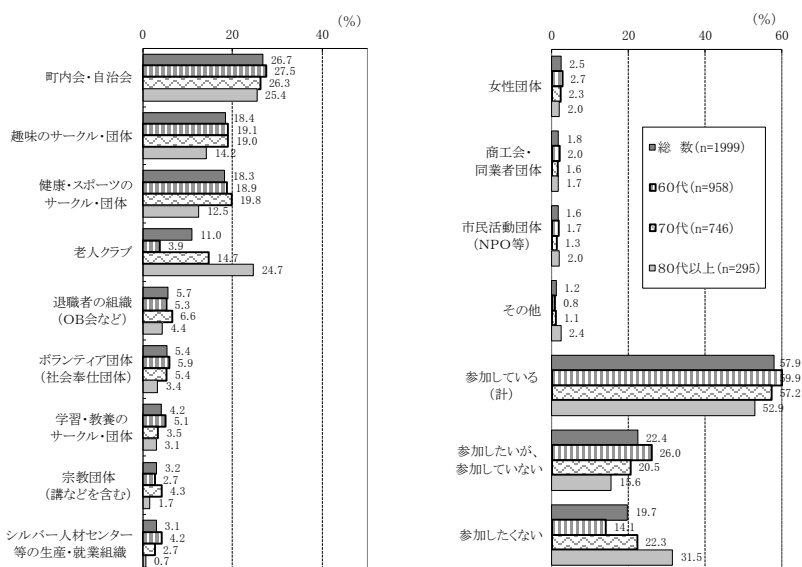
Q9-2「あなたが、現在参加している団体や組織がありますか。それはどのような団体ですか。」

(複数回答)

(時系列・総数)



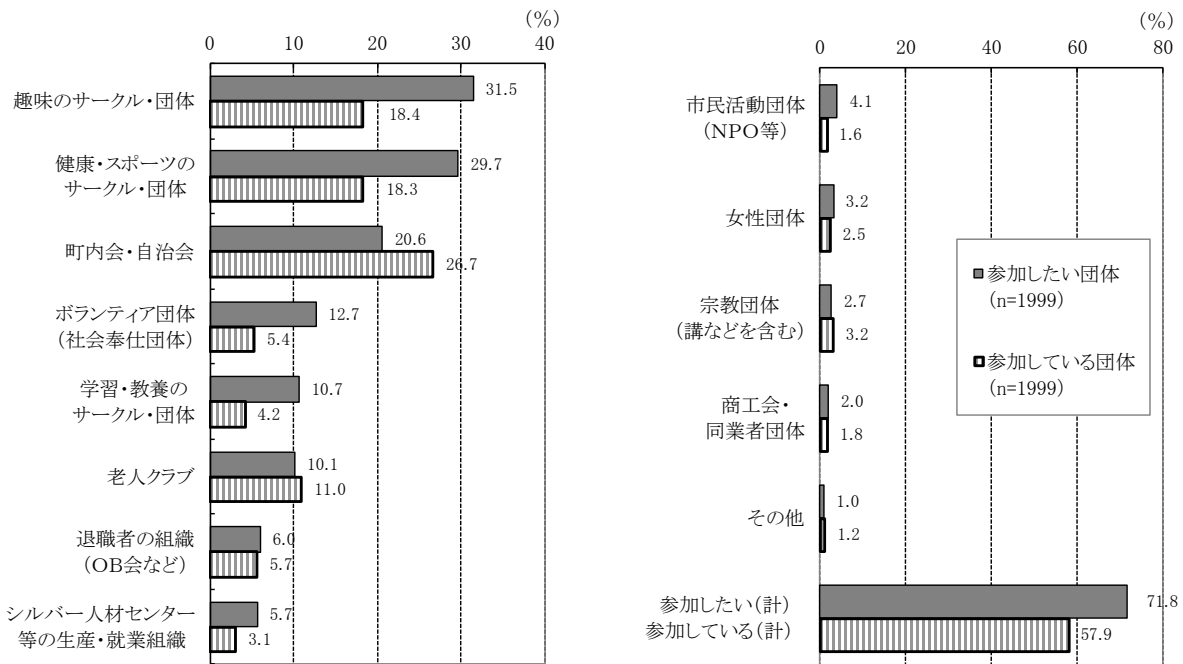
(平成25年度・年齢層別)



(7) 参加したい団体 (Q9-1) と参加している団体 (Q9-2)

- ・参加したい団体と参加している団体を見ると、「趣味のサークル・団体」と「健康・スポーツのサークル・団体」では約3割の人が「参加したい」と思っているが、「参加している」人は約2割弱にとどまっている。
- ・参加したい団体別に参加している団体を見ると、「町内会・自治会」、「老人クラブ」に「参加したい」と考えている人の7割以上が「参加している」と回答している。一方、「ボランティア団体」、「学習・教養のサークル・団体」、「市民活動団体」に「参加したい」と考えている人で「参加している」と回答した人は約3割にとどまっている。

(平成 25 年度・総数)



(平成 25 年度・総数クロス集計表) *参加したい団体別にみた参加している団体

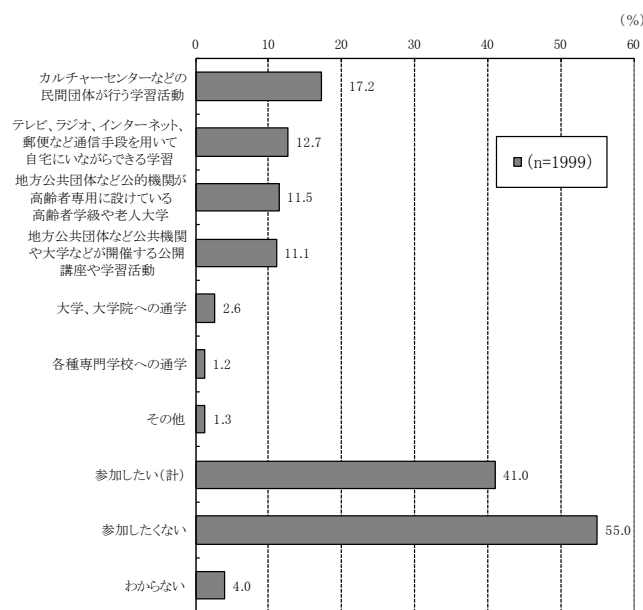
	総数	町内会・自治会	趣味のサークル・団体	健康・スポーツのサークル・団体	老人クラブ	退職者の組織 (OB会など)	ボランティア団体 (社会奉仕団体)	学習・教養のサークル・団体	宗教団体 (講などを含む)	シルバー人材センター等の生産組織	女性団体	商工会・同業者団体	市民活動団体 (NPO等)	その他	参加したいが、参加していない	参加している (計)	参加したくない
【総数】	1999	26.7	18.4	18.3	11.0	5.7	5.4	4.2	3.2	3.1	2.5	1.8	1.6	1.2	22.4	57.9	19.7
Q9-1【参加したい団体】	412	73.3	19.9	21.1	21.1	9.0	8.5	5.3	3.4	5.3	3.4	2.4	3.4	0.7	15.8	83.3	1.0
町内会・自治会	629	30.0	50.1	30.4	12.7	9.5	9.9	8.3	2.4	4.6	3.5	1.6	2.2	1.3	19.1	78.5	2.4
趣味のサークル・団体	593	27.8	29.5	51.6	10.6	9.1	7.6	7.8	2.4	3.9	3.0	2.5	2.7	1.2	21.1	76.6	2.4
健康・スポーツのサークル・団体	202	46.5	24.3	23.8	74.8	7.4	6.9	5.0	5.9	2.5	3.0	2.5	1.0	14.4	84.7	1.0	
老人クラブ	120	40.8	27.5	30.0	14.2	61.7	9.2	7.5	1.7	7.5	3.3	0.8	0.8	-	13.3	82.5	4.2
退職者の組織 (OB会など)	253	39.1	33.6	28.9	13.4	9.1	33.2	11.9	2.8	6.7	4.0	2.8	5.5	2.0	21.3	77.1	1.6
ボランティア団体 (社会奉仕団体)	213	32.4	41.3	33.8	9.9	9.9	14.6	30.0	2.8	4.7	4.7	2.8	6.6	0.9	19.2	78.9	1.9
学習・教養のサークル・団体	54	37.0	16.7	16.7	20.4	9.3	7.4	3.7	75.9	3.7	1.9	1.9	-	-	9.3	90.7	-
宗教団体 (講などを含む)	113	29.2	15.0	19.5	11.5	9.7	10.6	8.0	7.1	41.6	3.5	0.9	2.7	-	28.3	68.1	3.5
シルバー人材センター等の生産・就業組織	63	30.2	28.6	20.6	25.4	3.2	14.3	11.1	3.2	4.8	39.7	4.8	4.8	-	31.7	66.7	1.6
女性団体	40	37.5	15.0	15.0	15.0	10.0	12.5	7.5	2.5	-	2.5	60.0	7.5	2.5	10.0	82.5	7.5
商工会・同業者団体	81	38.3	39.5	33.3	14.8	8.6	21.0	18.5	2.5	9.9	7.4	4.9	27.2	1.2	27.2	71.6	1.2
市民活動団体 (NPO等)	19	21.1	10.5	10.5	5.3	-	5.3	-	5.3	-	-	-	-	26.3	36.8	52.6	10.5
その他	533	11.1	2.1	2.6	3.8	0.6	0.6	0.4	0.8	-	0.2	0.2	-	0.6	18.0	16.7	65.3
参加したくない	31	6.5	6.5	3.2	9.7	3.2	-	-	-	3.2	-	-	-	-	54.8	19.4	25.8
参加したい (計)	1435	33.0	24.7	24.5	13.7	7.6	7.2	5.7	4.1	4.3	3.3	2.4	2.2	1.4	23.3	74.0	2.6

(8) 学習活動への参加意向

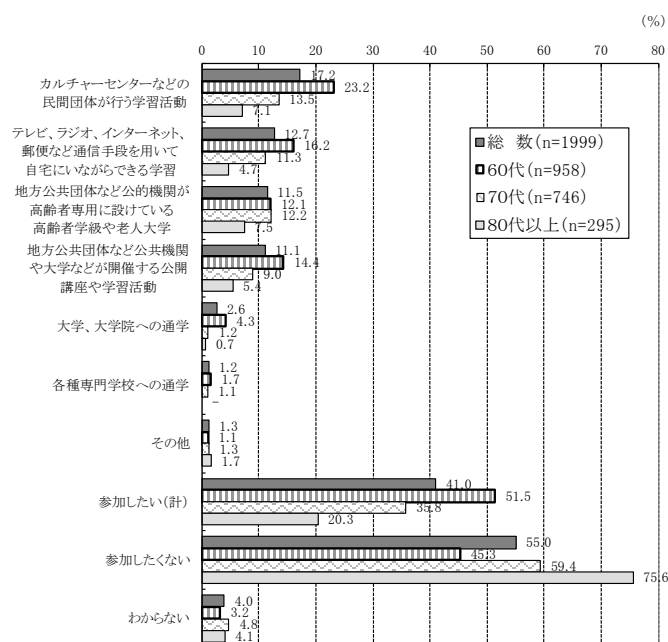
- ・参加したい学習活動は「カルチャーセンターなどの民間団体が行う学習活動」(17.2%)が最も多い。
- ・「参加したい(計)」(いずれかの学習活動に参加したい)と思っている人は約4割(41.0%)で、「参加したくない」と思っている人は5割を超えている(55.0%)。
- ・年齢層別にみると、それぞれの学習活動において、年齢が高くなるとともに「参加したい」と思っている人の割合が低くなっている。60代では「参加したい(計)」が5割を超えている(51.5%)が、80代では「参加したくない」が7割を超えている(75.6%)。

Q10-1 「あなたは、次のような学習活動に参加したいと思いますか。」 (複数回答)

(平成25年度・総数)



(平成25年度・年齢層別)

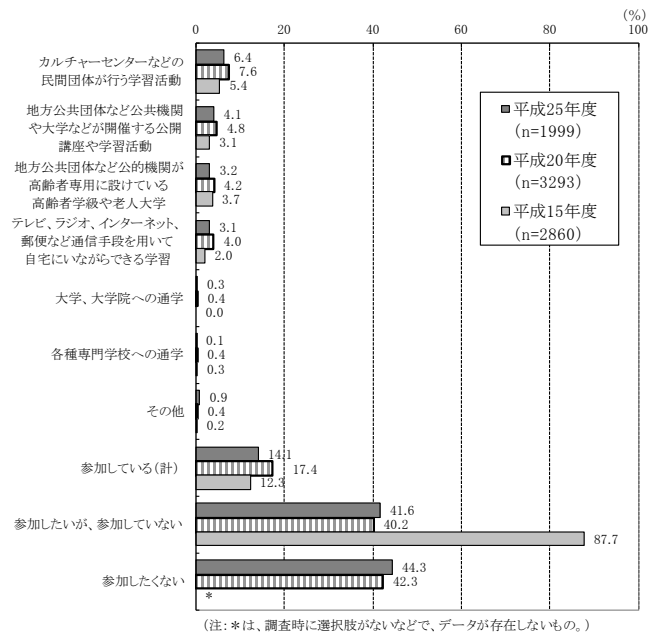


(9) 学習活動への参加状況

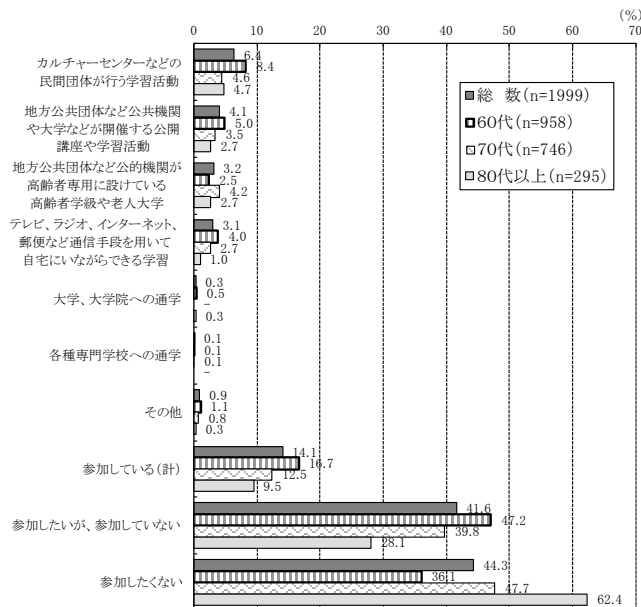
- ・参加している学習活動は「カルチャーセンターなどの民間団体が行う学習活動」(6.4%)が最も多い。
- ・時系列で比較すると、「参加している(計)」(いずれかの学習活動に参加している)人は、平成25年度調査では14.1%であり、前回調査(17.4%)から3.3%ポイント減少した。
- ・年齢層別にみると、「参加している(計)」は60代が最も多い(16.7%)。「参加したいが、参加していない」も60代が最も多く約5割(47.2%)の人がそう思っている。

Q10-2 「あなたは、次のような学習活動に参加していますか。」(複数回答)

(時系列・総数)



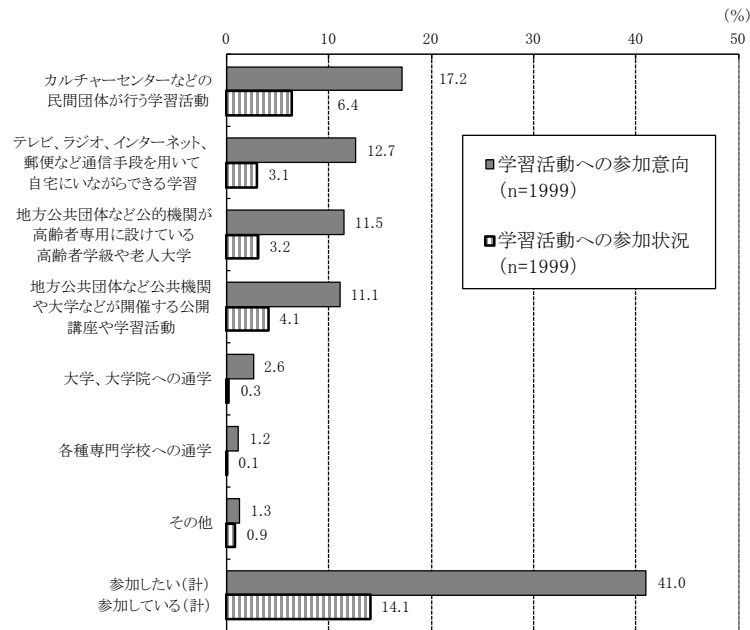
(平成25年度・年齢層別)



(10) 学習活動への参加意向 (Q10-1) と参加状況 (Q10-2)

- ・ 学習活動への参加意向と参加状況を見ると、「参加したい (計)」 (いずれかの学習活動に参加したい) 人は 41.0%だが、「参加している (計)」 (いずれかの学習活動に参加している) 人は 14.1%にとどまっている。
- ・ 学習活動への参加意向別に参加状況を見ると、「カルチャーセンターなどの民間団体が行う学習活動」に「参加したい」と考えている人で「参加している」と回答した人は約 3割 (29.4%) となっている。

(平成 25 年度・総数)



(平成 25 年度・総数クロス集計表) * 学習活動への参加意向別にみた学習活動への参加状況

	総数	民間団体が行う学習活動	公共機関や大学が開催する公開講座	公的機関が設けている高齢者学級等	通信手段を用いた在宅学習	大学、大学院への通学	各種専門学校への通学	その他	参加したいが、参加していない	参加したくない	参加している (計)
【総数】	1999	6.4	4.1	3.2	3.1	0.3	0.1	0.9	41.6	44.3	14.1
Q10-1											
【学習活動への参加意向】											
民間団体が行う学習活動	344	29.4	10.5	7.3	6.1	0.6	0.3	1.2	59.0	1.7	39.2
公共機関や大学が開催する公開講座	221	22.6	25.8	10.4	8.6	0.9	-	0.9	55.2	2.3	42.5
公的機関が設けている高齢者学級等	229	16.6	13.5	20.1	5.2	0.4	0.4	0.9	60.7	0.9	38.4
通信手段を用いた在宅学習	253	10.3	7.9	4.0	18.6	-	0.4	-	68.8	2.0	29.2
大学、大学院への通学	52	17.3	23.1	13.5	11.5	11.5	-	-	51.9	1.9	46.2
各種専門学校への通学	24	8.3	8.3	-	4.2	-	4.2	-	83.3	-	16.7
その他	26	-	-	7.7	3.8	-	-	11.5	69.2	11.5	19.2
参加したくない	1100	0.5	0.4	0.4	0.1	-	-	0.5	22.1	76.1	1.8
わからない	79	1.3	-	-	-	-	-	2.5	60.8	35.4	3.8
参加したい (計)	820	14.9	9.5	7.2	7.3	0.7	0.2	1.2	66.0	2.6	31.5

3. 地域活動への考え方に関する事項

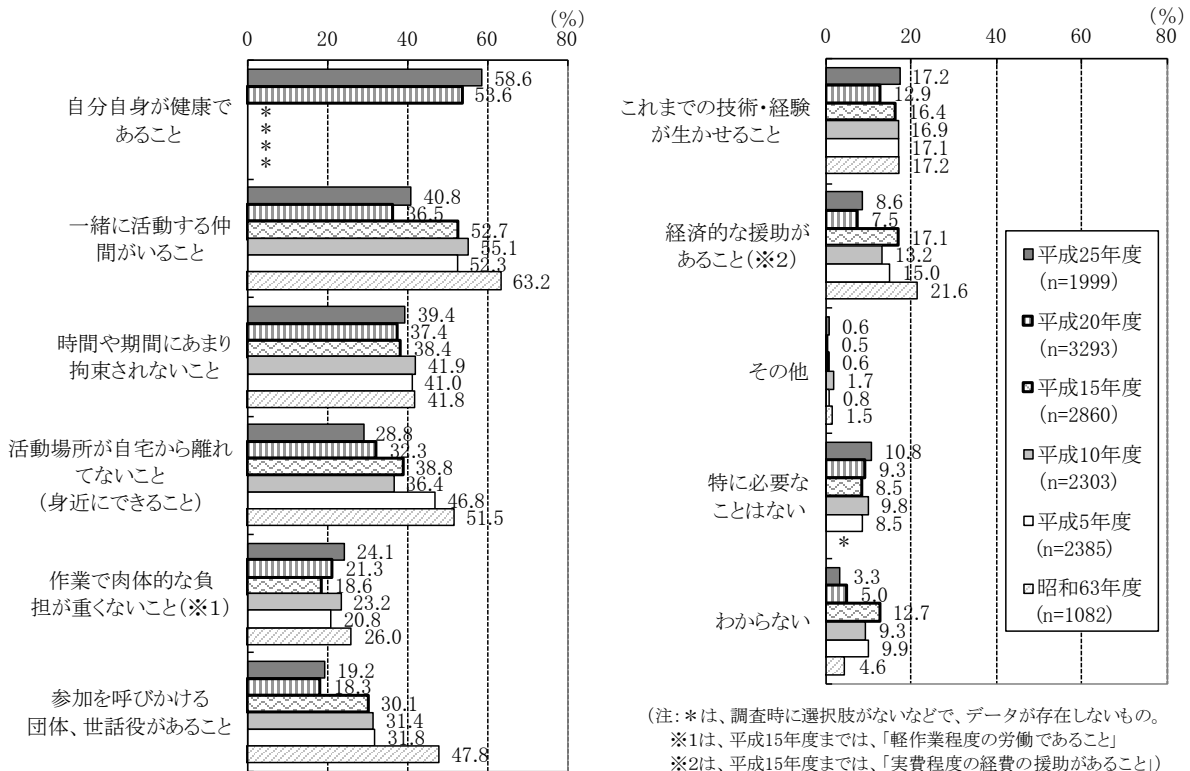
(1) 地域活動を行うための必要条件

- ・ 地域の奉仕活動への参加にあたり必要だと思うことは、「自分自身が健康であること」(58.6%)が最も多く、次いで「一緒に活動する仲間がいること」(40.8%)が多い。
- ・ 時系列で見ると、「活動場所が自宅から離れていないこと(身近にできること)」や「参加を呼びかける団体、世話役があること」は減少傾向がみられる。

Q12 「地域の奉仕活動にあなたが実際に参加するには、どのような条件が必要だと思いますか。」

(複数回答)

(時系列・総数)

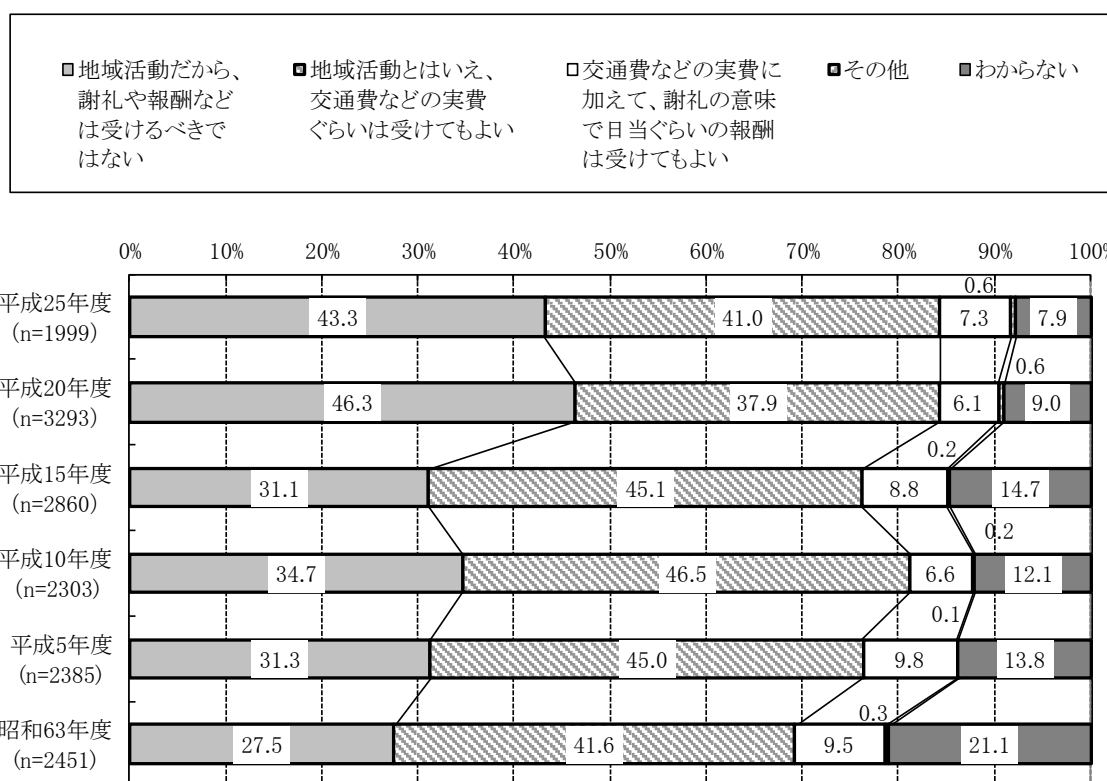


(2) 地域活動の報酬に対する考え方

- ・ 地域の奉仕活動における報酬に対する考え方は、「地域活動だから、謝礼や報酬などは受けるべきではない」(43.3%)が最も多いが、次いで「地域活動とはいえ、交通費などの実費ぐらいいは受けてもよい」(41.0%)が多く、4割を超えている。
- ・ 時系列でみると、「地域活動だから、謝礼や報酬などは受けるべきではない」という考え方は、増加傾向がみられる。

Q13 「地域のための奉仕活動における報酬について、あなたはどのようにお考えですか。
この中からあなたのお考えに最も近いものを1つだけあげてください。」

(時系列・総数)



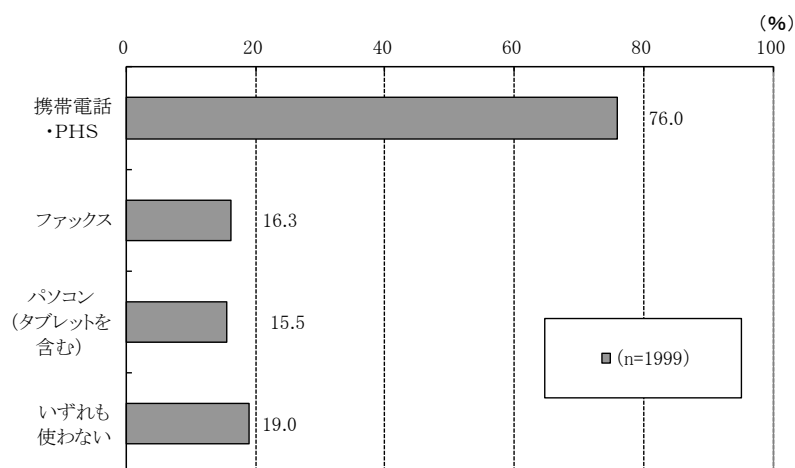
4. 世帯間交流の意向に関する事項

(1) 情報機器の便利度

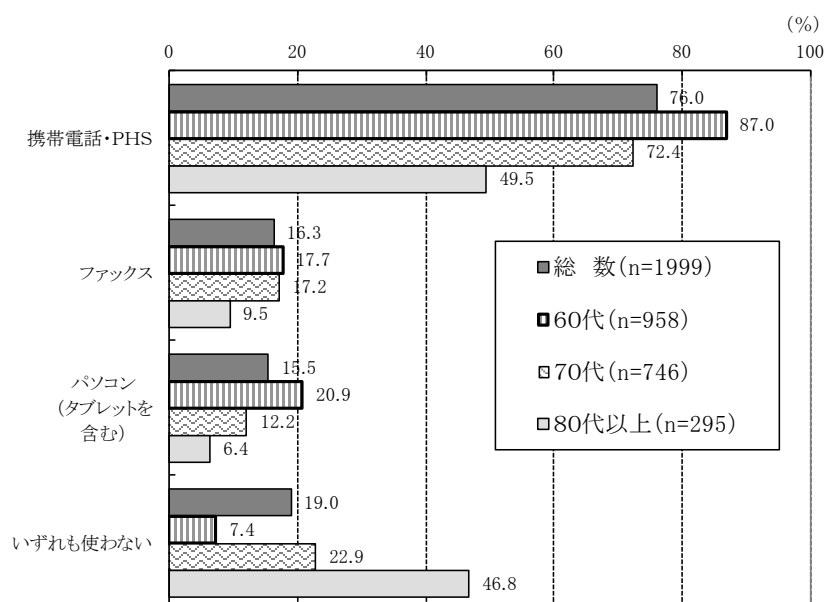
- ・利用している情報機器の中で便利だと思うものは、「携帯電話・PHS」(76.0%)が最も高い。
- ・年齢層別にみると、「携帯電話・PHS」を利用し便利だと思っている人は、60代では87.0%、70代では72.4%、80代以上では49.5%となっている。
- ・「携帯電話・PHS」、「ファックス」、「パソコン」の「いずれも使わない」と回答した人は、80代以上で46.8%となっている。

Q15「あなたは、家族や友人知人への連絡、情報収集等に利用しているものの中でどれが便利だと思いますか。」(複数回答)

(平成25年度・総数)



(平成25年度・年齢層別)

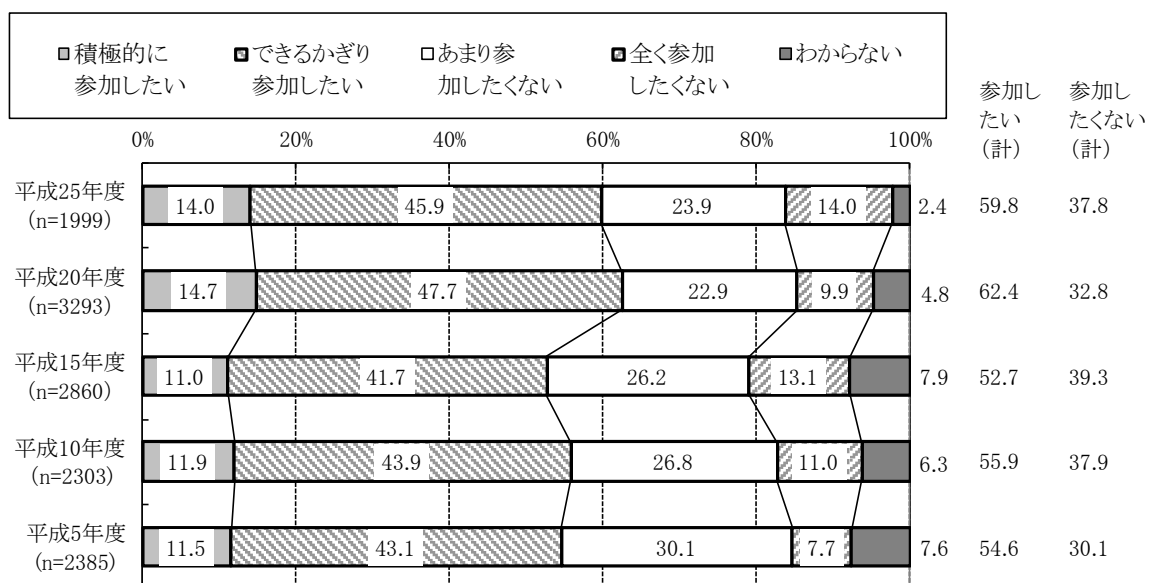


(2) 若い世代との交流への参加意向

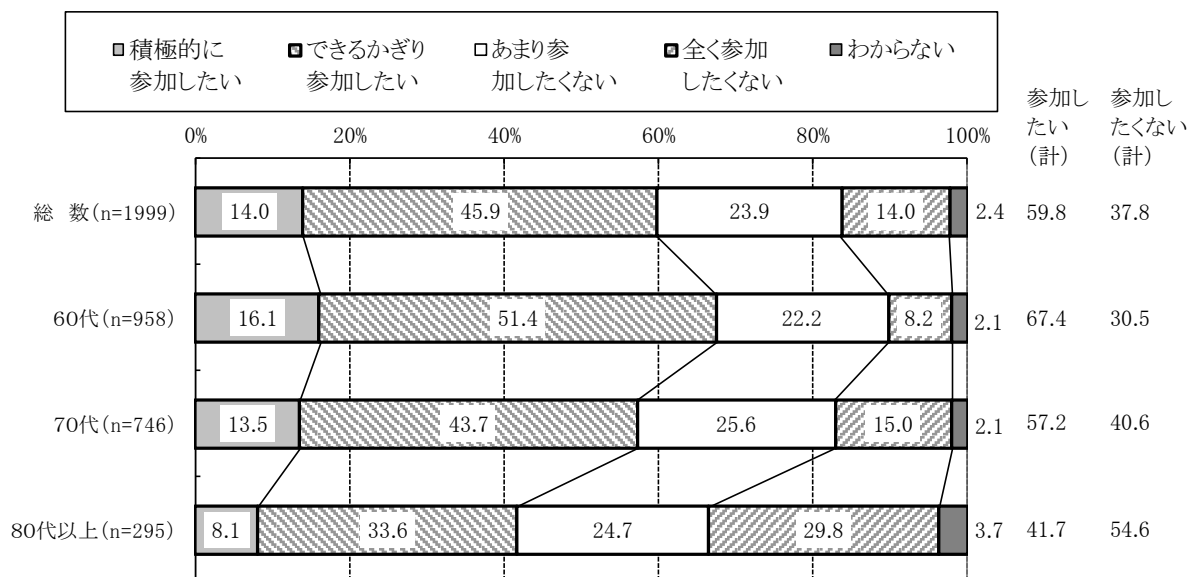
- ・若い世代との交流への参加意向は、「参加したい（計）」（「積極的に参加したい」と「できるかぎり参加したい」の合計）が約6割（59.8%）となっている。
- ・年齢層別にみると、「参加したい（計）」は、60代では67.4%、70代では57.2%、80代以上では41.7%となっており、年齢が低いほど若い世代との交流の参加意向がみられる。

Q16-1 「あなたは、若い世代との交流の機会があった場合、どうされますか。」

(時系列・総数)



(平成25年度・年齢層別)

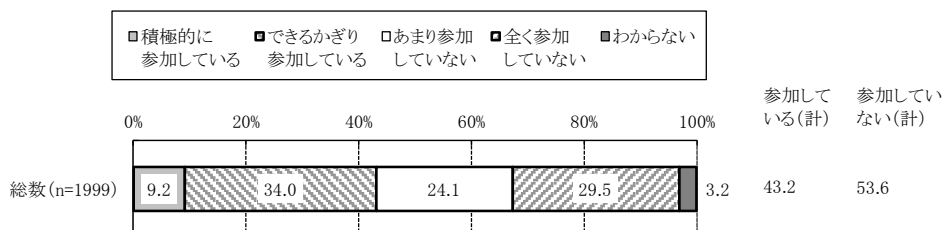


(3) 若い世代との交流への参加状況

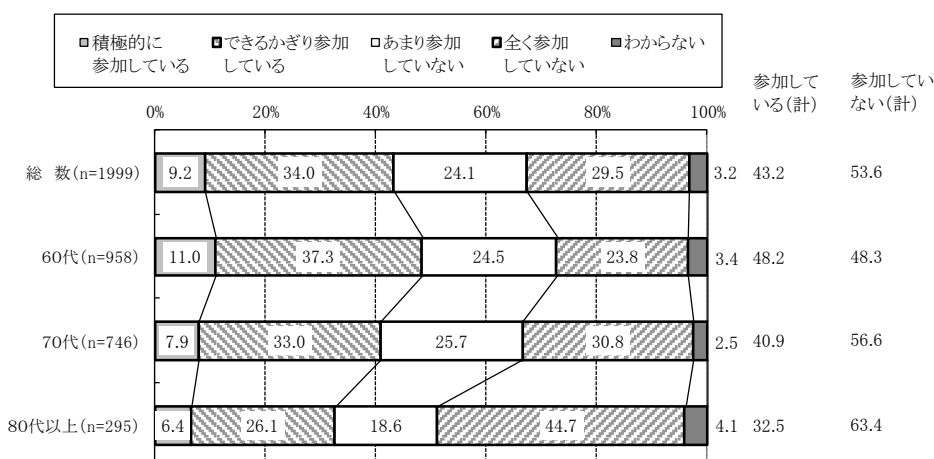
- ・若い世代との交流への参加状況は、「参加している（計）」（「積極的に参加している」と「できるかぎり参加している」の合計）が約4割（43.2%）となっている。
- ・年齢層別にみると、「参加している（計）」は、60代では48.2%、70代では40.9%、80代以上では32.5%となっており、年齢が低いほど若い世代との交流に参加している。

Q16-2 「あなたは、若い世代との交流の機会があった場合、どうされていますか。」

(平成25年度・総数)



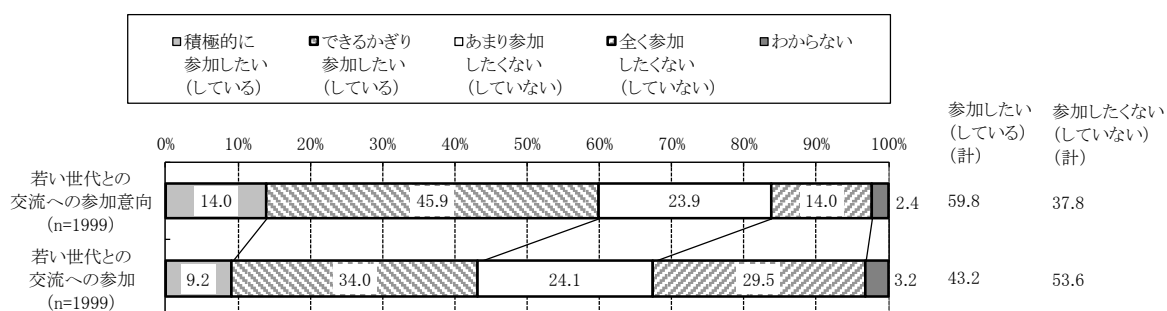
(平成25年度・年齢層別)



(4) 若い世代との交流への参加意向 (Q16-1) と参加状況 (Q16-2)

- ・若い世代との交流への参加意向と参加状況をみると、「参加したい（計）」は約6割（59.8%）だが、「参加している（計）」は約4割（43.2%）となっている。

(平成25年度・総数)



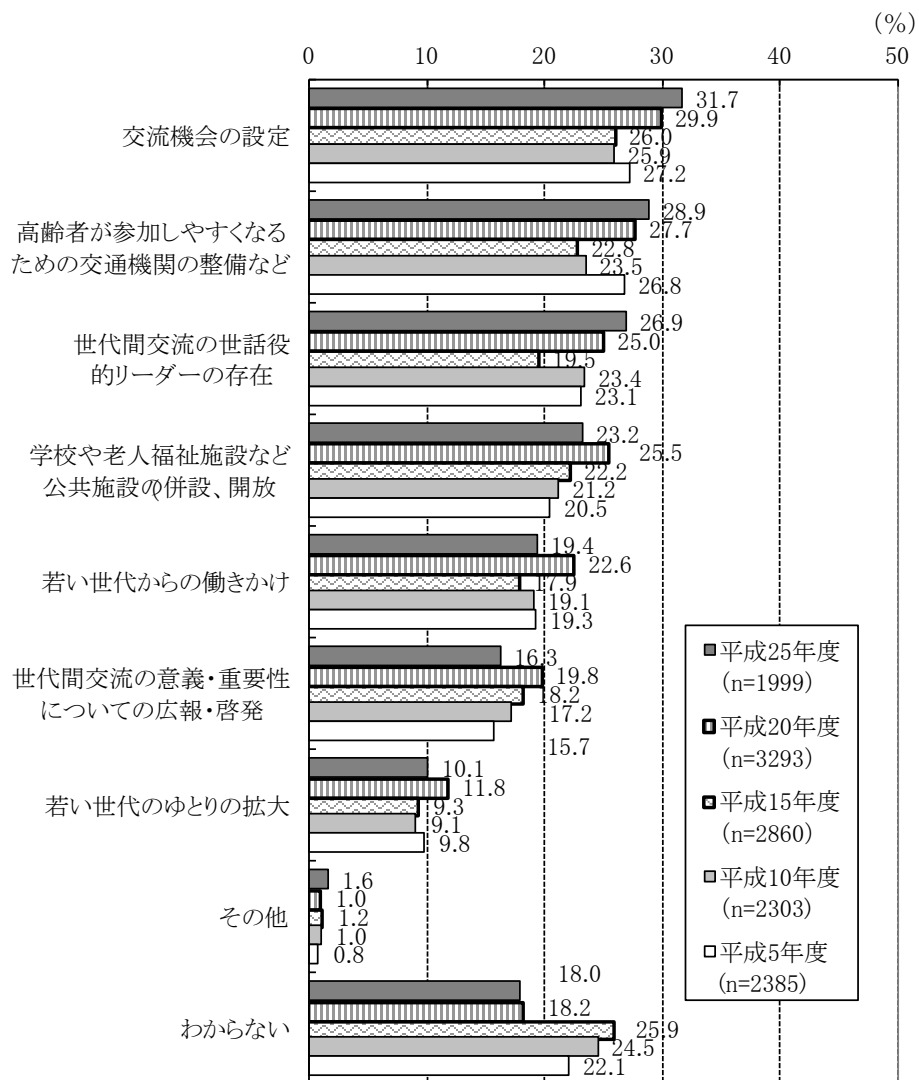
(5) 世代間交流推進のための必要条件

・世代間の交流を促進するために必要だと思うことは、「交流機会の設定」(31.7%)が最も多い。

Q17 「あなたは、世代間の交流を促進するために、どのようなことが必要だと思いますか。」

(複数回答)

(時系列・総数)



以上